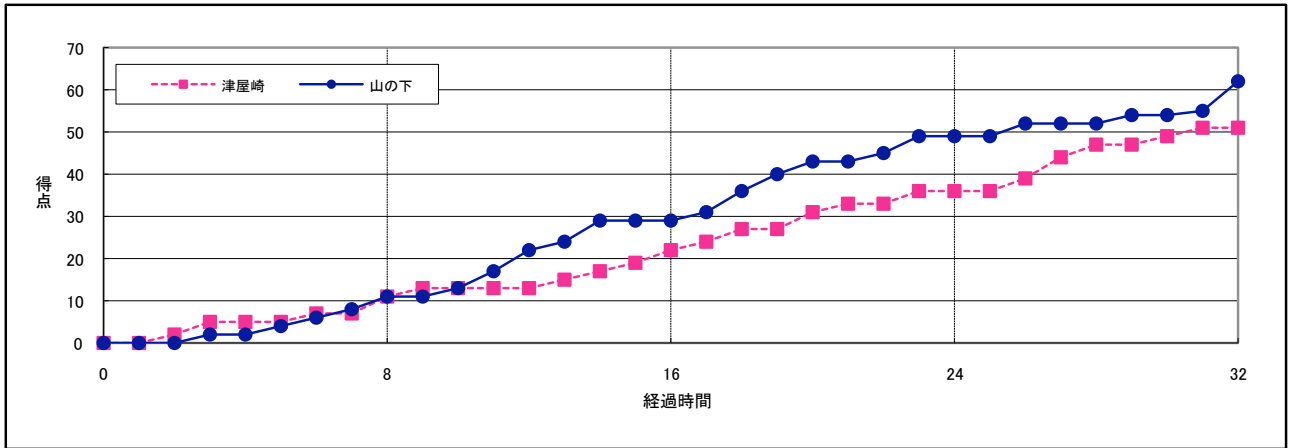


平成21年度全国中学校体育大会
第39回全国中学校バスケットボール大会



試合区分	1日目 女子 Fコート第6試合 予選リーグN																			
日時	8月20日(木)		16:10 ~																	
会場	サンアリーナせんだい																			
結果	津屋崎 福岡 ●	51	<table border="0"> <tr><td>11</td><td>1st</td><td>11</td></tr> <tr><td>11</td><td>2nd</td><td>18</td></tr> <tr><td>14</td><td>3rd</td><td>20</td></tr> <tr><td>15</td><td>4th</td><td>13</td></tr> <tr><td></td><td>OT</td><td></td></tr> </table>	11	1st	11	11	2nd	18	14	3rd	20	15	4th	13		OT		62	山の下 新潟 ○
11	1st	11																		
11	2nd	18																		
14	3rd	20																		
15	4th	13																		
	OT																			
審判	主審 泉澤 仁		副審 安藤 正																	



【個人トータル表】 ×=スターティングメンバー / =出場選手

空欄=出場なし

津屋崎							
No.	選手氏名	Pl-in	得点	3P	2P	FT	反則
4	瀬戸あかね						
5	渡邊絵里加	/	2	0	1	0	1
6	中村美仁	/	4	0	1	2	1
7	江崎美和	×	0	0	0	0	4
8	北阪優奈						
9							
10	間萌香	/	0	0	0	0	0
11	米倉晴香	×	7	0	3	1	4
12	内匠媛奈	×	4	0	2	0	2
13	村山雅	/	23	2	8	1	1
14	西幹菜						
15	貫方菜子						
16	牟田穂乃佳	×	8	0	3	2	1
17	永島望美	×	3	1	0	0	4
18							
監	山田加代子						
C	竹内眞二						
合計			51	3	18	6	18

山の下							
No.	選手氏名	Pl-in	得点	3P	2P	FT	反則
4	佐藤理沙	×	17	0	7	3	2
5	吉原茉邑	×	11	3	1	0	3
6	横山怜	×	10	0	3	4	3
7	佐藤萌	/	0	0	0	0	0
8	五十嵐恵理	/	0	0	0	0	1
9	伊藤優	/	2	0	1	0	1
10	氏田有希						
11	熊倉彩	×	10	0	5	0	4
12	斎藤亜実	/	0	0	0	0	0
13	川崎成美						
14	南波くらら						
15	竹内梨都	×	0	0	0	0	0
16	山澤恵	/	5	0	2	1	1
17	内山亜美	/	7	1	1	2	0
18	金田沙也香						
監	西村渉						
C	米本香太郎						
合計			62	4	20	10	15

3P=3ポイントシュート 2P=2ポイントシュート FT=フリースロー

第1P、津屋崎はオールコートのマンツーマン、山の下は2-3のハーフコートゾーンディフェンスで試合開始。開始から互いに激しいディフェンスで、相手に得点を許さない。開始2分、津屋崎#12のジャンプシュートでようやく先制。対する山の下も#11のバスケットカウントで応戦し、互いに譲らず一進一退の攻防を繰り返す。その後、津屋崎は#11の連続得点などがあり、山の下を突き放そうとするが、山の下も#4、#5の2Pシュートなどで食らいつき、結局11-11の同点で第1Pを終える。

第2P、開始早々、津屋崎はフリースローで追加点をあげる。一方の山の下は、津屋崎のディフェンスを崩すことができず、なかなか得点をあげることができない。そこで、オールコートのプレスディフェンスに変えると、これが功を奏し、インターセプトから#16、#17が連続して得点をあげる。その後も、#4のバスケットカウントや#17の3Pシュートなどで得点を重ね、津屋崎22-29山の下で前半を終える。

第3P、津屋崎は1-3-1、山の下は2-2-1のオールコートゾーンプレスで後半がスタート。互いに厳しいディフェンスから得点を積み重ね、攻防が激しさを増す。津屋崎は#16の連続得点などで追撃を図るが、山の下も#5の3Pシュートや#4、#11、#9の3連続得点などで逃げる。残り4分、津屋崎はディフェンスをマンツーマンプレスに変えるが点差は開き、津屋崎36-49山の下で、第3Pを終える。

第4P、点差を縮めたい津屋崎は、第3Pに続きマンツーマンプレスを仕掛ける。これが功を奏し、#13の3Pシュート2本を含む4連続得点により、開始3分で点差は一気に5点となる。山の下は、たまたまタイムアウトをとると、#16のレイアップシュートで約3分間止まっていた得点がようやく動く。その後、互いにシュートが決まらない時間が続くが、残り30秒、山の下#6のバスケットカウントが決まり、津屋崎51-58山の下となる。その後、津屋崎もファウルゲームに持ち込むが点差は縮まらず、津屋崎51-62山の下で、山の下が勝利を取った。